

1 アラビアゴム

2 確認試験の項を次のように改める.

3 確認試験 本品の粉末1 gに水25 mL及び硫酸1 mLを加え、還
4 流冷却器を付け、沸騰水浴中で60分間加熱する。冷後、無
5 水炭酸ナトリウム2.0 gを穏やかに加え、その液1 mLにメタ
6 ノール9 mLを加えてよく混和し、遠心分離し、上澄液を試
7 料溶液とする。別にD-ガラクトース、L-アラビノース及
8 びL-ラムノース水和物10 mgずつをそれぞれ水1 mLに溶
9 かし、メタノールを加えて10 mLとし、標準溶液(1)、標準
10 溶液(2)及び標準溶液(3)とする。これらの液につき、薄層ク
11 ロマトグラフィー (2.03) により試験を行う。試料溶液、標
12 準溶液(1)、標準溶液(2)及び標準溶液(3) 2 μ Lずつを薄層ク
13 ロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にス
14 ポットする。次に酢酸エチル/メタノール/酢酸(100)/水
15 混液(12 : 3 : 3 : 2)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄
16 層板を風乾する。これに1-ナフトール・硫酸試液を均等に
17 噴霧し、105 °Cで2分間加熱するとき、試料溶液から得た3
18 個のスポットは、標準溶液のD-ガラクトース、L-アラビ
19 ノース及びL-ラムノースの各スポットと色調及び R_f 値が等
20 しい。
21
22